□寺町都市美形成地域の都市美誘導基準チェックリスト（住宅等）

**道路Ａの沿道**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 指　導　項　目 | | | | 都　市　美　誘　導　基　準 | 具　体　的　な　内　容 |
| 基　本　方　針 | | | | 寺町らしい町並みの雰囲気をつくり、守り、育てるように努力、工夫する。 |  |
| 建  　　築  物 | 規　　　模 | | | ２階建てまでに努める。 |  |
| 位　　　置 | | | できるだけ軒を深くし、軒先と壁の線を近隣とそろえるように努める。 |  |
| 意  匠 | 全　体 | | 道路から見える屋根、外壁、軒裏、出入り口、窓、設備等の形態、材料、色彩等は、寺町らしい伝統を感じさせるようにする。 |  |
| 屋  根 | 形態 | 伝統的な和風のこう配屋根（切り妻、入り母屋、寄せ棟等）とする。 |  |
| 材料 | 和瓦で、色は、灰色又は黒とする。 |  |
| 外　壁 | | しっくい壁風、土壁風、縦羽目板張り風、下見板張り風等の和風の雰囲気のものとする。 |  |
| 軒　裏 | | しっくい塗り風等の和風のものとする。 |  |
| 窓 | | 格子付等の和風のものとする。 |  |
| 出入口 | | 格子戸、板戸等の和風のものとする。 |  |
| 道路に面した部分 | | 軒又はひさしを設け、その形態・材料は、桟瓦風、銅板ぶき風とし、そのこう配や先端の高さをそろえる。 |  |
| 道路に面した軒下部分 | | 玉石、砂利洗い出し、和風陶板、石畳等寺町らしい和風の舗装に努める。  アスファルト、コンクリートや洋風タイルばり等は避けるよう努める。 |  |
| 店舗の店先 | | ちょうちん、のれん、床ぎ等で伝統的雰囲気を醸し出すよう工夫する。 |  |
| 木竹の態様又は塀等（道路に面した部分） | | | | 軒下部分には、駒寄せ、大阪出格子等寺町らしいもの以外は設けず、開放的に工夫する。 |  |
| その他の部分では、塀の位置は建物外壁とそろえ、道路に面する部分に、伝統的景観にふさわしい植栽をするよう努める。 |  |
| 塀は、和風塀の雰囲気を持ったものに工夫する。 |  |
| 看板、案内板等 | | | | 大きさ、デザイン、色調、材質を工夫する。 |  |
| 軒下に設け、和風の雰囲気になるよう工夫する。 |  |
| 工作物・建築設備等 | | | | その他の工作物（アンテナ、物干し等）や建築設備（空調屋外機、消防設備、防火水槽、受水槽等）等は、道路から見えにくくする。見える場合は、その意匠、形態、材料、色彩等を寺町らしく工夫する。 |  |